



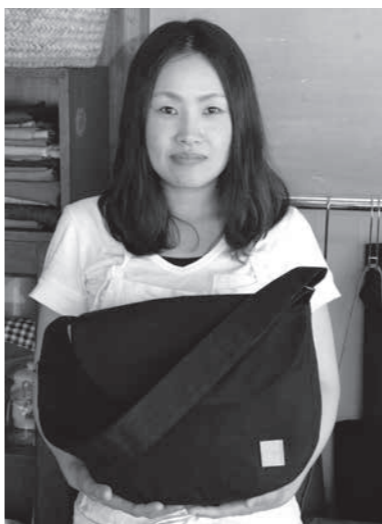
帆布生地でオリジナル バッグ作りに励むアーティスト

中村由香利さん(長野)

かつて足袋・被服商であった牧植商店の工場として、主に使用されていた牧植舎。NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが改装し、今年の4月にアーティストシェア工房として生まれ変わりました。今月は、6月から牧植舎でオリジナルのバッグ作りに励んでいる女性アーティスト「B.a.」こと、中村由香利さんを紹介いたします。

「幼いころ、母や祖母が自宅にあるミシンで手作りの洋服を作ってくれました」と語る中村さん。身に付けていた洋服のほとんどが、手作りによるものだったそうです。そんな母や祖母のミシンを踏む姿勢に影響を受け、自宅にあった足踏みミシンでよく遊んでいました。

高校卒業後はアパレルショップの販売員として就職し、洋服を売る仕事をしていましたが、「服を売るより、自分で作ってみたい」という思いから3年で退職し、服飾専門学校に入学。専



門学校で洋服を作るための基本的な知識や技術を一から学びながら、古着屋でも働き、古着のリメイクを担当していたそうです。「学校で学んだことをすぐに職場で試すことができ、古着ならではの色使いやデザインに触れたことで、感性を磨くことができました。学校に通いながら働くことは大変でしたが、毎日が充実していましたよ」と当時のことを話してくれました。

専門学校卒業後、中村さんはバッグ作りにも挑戦しました。本格的にバッグ作りを手掛けるようになったのは、5年前のこと。古着屋のオーナーの妻から「私が経営するカフェで、作ったバッグを売ってみたいか」と勧められたのです。それ以来、カフェ店に限らず、県内外の手作りのものが数多く販売されるクラフトフェアにも出展するようになりました。

現在、中村さんが制作しているバッグは帆布製のもが中心です。帆布製バッグの魅力を「軽しいし、使えば使うほど味が出ます。服に合わせてやすく、コーディネートアクセントにもなりますよ」と教えてくれました。今後は帆布生地だけでなく、さまざまな素材を組み合わせて作品を作っていく予定です。

「私が作ったバッグをクタクタになるまで使ってくれたら作家冥利に尽きますね」とほほ笑む中村さん。これからも日々の暮らしをイメージしながら、年代を問わず使ってもらえるようなオリジナルのバッグを一つ一つ丁寧に仕上げしていきます。

はじめまして

★★★ 平成25年 8月生まれのおともだち ★★★

平成25年10月生まれのお子さんを募集します

○8月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、9月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



安岡 徳祈ちゃん(榑田町)
平成25年8月21日生まれ
父・裕司さん 母・由樹子さん
「幸せをありがとう♡」
毎日笑顔で♡



佐藤 美月ちゃん(埼玉)
平成25年8月28日生まれ
父・洋一さん 母・綾子さん
「兄妹♡いつまでも仲良く♡」
「本当にありがとう!」



森山 璃久ちゃん(埼玉)
平成25年8月7日生まれ
父・智之さん 母・裕美さん
「生まれてきてくれて」
「本当にありがとう!」



坂村 実理ちゃん(本丸)
平成25年8月9日生まれ
父・理則さん 母・さおりさん
「みのおおきあゆみを」



伊東 和真ちゃん(谷郷)
平成25年8月11日生まれ
父・崇行さん 母・美保さん
「いつも笑顔で」
「元気な子に♡」



大谷 凌平ちゃん(富士見町)
平成25年8月25日生まれ
父・光徳さん 母・久美子さん
「兄ちゃんと共に」
「健やかに大きくなあれ!!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

朝日食品工業株式会社

安全・安心・健康を兼ね備えた豆腐を追求し続ける



会社プロフィール

代表取締役社長 中野 高雄
【事業内容】豆腐、油揚げ、豆腐加工品の製造、販売

健康の維持増進に効用のある食品として、世界中で注目されている豆腐を製造している朝日食品工業株式会社。今年6月には、韓国、アメリカ、中国に工場を持つている韓国のブルモン社と業務提携を行い、業界世界一の生産規模となりました。

昭和47年4月、同社は利根川と荒川に挟まれ、豊かな水資源がある本市で豆腐の製造を開始しました。その7年後には「おいしさ」「安全・安心・健康」を兼ね備えた商品を開発するため、独自の研究所を設立し、世界中の大豆を調査して、豆腐に最も適した大豆を厳選しています。

同社の特徴は、お客さまの立場に立ち、緻密なマーケティングを行っていること。家族構成の変化や時代の流れを捉え誕生した業界初の「2連豆腐」は、今ではおなじみとなっていますが、販売当初は、「2個に分けてあるので、余った豆腐を捨てなくて済む」と大人気だったそうです。また、「ALPSシ

ステム」「無菌システム」といった新製法で、豆腐のおいしさを長期間保存することに成功。最近では同社独自の酸化抑制技術である「ナチュラルアクア製法」により、大豆本来の甘みとコクを引き出し、従来よりも圧倒的においしい豆腐を食卓に提供できるようになりました。また、調理をしなくてもすぐに食べられる味付きの豆腐や、味噌だれ、あんかけなどのたれを付けた商品も次々に開発し、忙しい毎日を過ごしている人の強い味方となっています。

「安心安全でおいしくて健康によい製品を作っていくことはもちろんのこと、今後は女性の社会進出など、時代の変化をとらえた商品を積極的に生み出していきたいですね」と工場長の上原さんは意気込みを語ります。24時間休まず稼働し、1日約20万食の豆腐を製造する同社。これからも、高い技術力と製品開発力を発揮し、世界中の人々の健康と豊かな生活を願い、製品作りは続きます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へ応募ください。

- | | | | |
|-----------------|------------|-----------------|-----------|
| 俳句 | 荒木 森田 静 | 咲き伝う太古のロマン蓮の花 | 城西 佐藤ヤスコ |
| 急かされて急いで気付けば六月尽 | 向町 渡月 峯 | 初茄子の自慢話に答すすむ | 持田 伊藤 洋子 |
| にらめっこ先に金魚が目をそらす | 富士見町 本間千代子 | 強がれど独りは寂し天の川 | 城南 橋本千枝子 |
| 七変化いつもとちがう紅をひく | 清水町 菅谷 光子 | 青嵐背中押されて逆上り | 南河原 若林 水翁 |
| わくら葉の少し気になる暁の路地 | 荒木 蛭間しげ子 | 病葉や野に晒したる肌の染み | 門井町 島田 茂 |
| 遠花火乙女心をよびさます | 白川戸 松本 忠之 | 簾越し転寝するも心地よし | 持田 田子 敏枝 |
| 愚痴聞いてくれる猫いる木蔭かな | 持田 二瓶 弘子 | 青嵐現世の塵を拭いけり | 持田 丸山 麟一 |
| 風の来て植田今にも溺れそう | 城西 新井 禮子 | 介護士の笑顔に雷も和むかな | 向町 小沼 重蔵 |
| 梅雨寒に亡母の香りのかっぱう着 | 渡柳 川田 静江 | 亡き祖母の面影浮かぶ遠花火 | 長野 篠崎 礼子 |
| 十葉や嫌われつつも花可憐 | 下中条 梶原 銃司 | おさなこの指さす先にどくだみ花 | 城西 新井 俊彦 |
| 大利根の水煌々と植田かな | | (三沢 一水 監修) | |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。